



紹介者
製造課 工藤 哲さん

▼どんな会社ですか
乾めんや半なま麺の日本そば、冷麺の製造および販売をしている会社です。特に、そば粉は国内産を使用していて、香り豊かな仕上がりになっています。

▼どんな仕事をしていますか
製麺から乾燥までの製造工程全般を行っています。

▼仕事で心掛けていることは
安定した品質を保ち、おいしく、安全な製品を作ることが常に心掛けています。

▼やりがいを感じるころは
お便りなどで寄せられる「おいしい」というお客さまの声が聞けるとうれしく、やりがいを感じます。

▼今後の展望は
製品に広く関わり、多くの人に愛される商品を作っていきたいです。

▼企業のPRをどうぞ
当社のホームページでは、通信販売もして、お客さまからも好評をいただいています。そばの栽培から製粉、製麺一貫体制で作上げた商品を、ぜひお試しください。

まちの企業 探検隊 ③⑥

(株)北館製麺

企業人による会社紹介

所在地 吹田176番地 1
資本金 5,000万円
代表者 代表取締役 北館 充史
設立 昭和50年10月 (創業は昭和23年)
従業員数 28人
電話番号 72-2748
事業内容 製麺および販売業
主な取引先 岩手県産(株)、(株)川徳、国分(株)、JX日鉱日石トレーディング(株)、(株)中田商店、東日本産業(株)ほか

お酒、飲みすぎてはいませんか

～適量飲酒は百薬、大量飲酒は百厄～

年末年始などお酒を飲む機会が続いて、飲み疲れという人は、いらつしやいませんか。お酒は適量ならストレスを和らげる効用がありますが、大量飲酒は肝臓だけでなく、すい臓、脳など全身に影響を及ぼします。

また、飲酒量が増えることで、アルコール依存症になってしまう恐れもあります。

◆お酒と上手に付き合うには

・適量(下図)を楽しく飲むことが大事です。嫌なことや、不安を紛らわせるために飲むと、酔いからさめた後、飲む前より気分が落ち込みます。

・アルコールを分解する肝臓を休めるため、週2日の休肝日を取りましょう。

・何か食べながらゆっくりと(高カロリーな揚げ物より、肝臓を守るたんぱく質を含んでいる豆腐や、枝豆などの方がお勧めです)

・眠れないからといって飲酒することはやめましょう。寝付きはよくなっても、浅い眠りで熟睡感は得られません。

◆アルコールに関するQ&A

Q. 体からアルコールが抜け

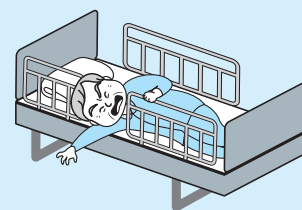
る時間の目安は？

 日本酒 (15度) 1合 (180ml) 純アルコール量22g	 焼酎 (35度) ぐい飲み2杯弱 (80ml) 純アルコール量22g
 ビール (5度) 中びん1本 (500ml) 純アルコール量20g	 ワイン (12度) グラス2杯弱 (200ml) 純アルコール量 20g
 ウイスキー (43度) ダブル1杯 (60ml) 純アルコール量20g	※女性と高齢者は表示の半分が適量です

図 適量飲酒の目安(これらのいずれかひとつ)

介護のココロ

☎・内線1181 市地域包括支援センター



保健のひろば

☎・内線1174 市役所健康福祉課

子育てNEWS

☎・内線1154 市役所児童福祉課

◆◆ 特別児童扶養手当のご案内 ◆◆

特別児童扶養手当は、心身に障がいのある20歳未満の児童を養育している保護者に支給されるものです。申請には、診断書、戸籍謄本、住民票などが必要です。

■対象児童

【1級】身体障害者手帳1・2級または療育手帳「A」程度の障がいのある児童

【2級】身体障害者手帳3・4級の一部程度の障がいのある児童

■支給額(平成24年4月現在)

児童1人につき1月当たり

【1級】50,400円 【2級】33,570円

■支給期間

児童が20歳に達する月まで

※児童が施設などに入所している場合や、保護者や同居親族の所得が一定額以上ある場合は支給されません。

申請など詳しくは、市役所児童福祉課まで。

◆◆ 医療・介護ベッドに潜む危険 ◆◆

近年、医療・介護ベッドのサイドレールやベッド用グリップによる死亡事故などが全国的に発生しています。事故の多くは、危険な部分があるかどうかの確認と正しい使い方によって、未然に防ぐことができたとされています。

■事故事例

無理な体勢でベッドの下にある物を取ろうとした時に、ヘッドボードとサイドレールのすき間に首を挟み込んでしまった。

→対応例=ボードとサイドレールなどのすき間をクッション材や毛布などを入れて埋めた。

医療・介護ベッド安全普及協議会が作成した「医療・介護ベッド安全点検チェック表」などを活用し、事故の未然防止に努めましょう。

詳しくは同協議会(☎03-3648-5510)、または市役所地域包括支援センターまで。

▶医療・介護ベッド安全普及協議会

ホームページ <http://www.bed-anzen.org/>

われらスポーツ少年団

市スポーツ少年団の団員が 1年の活動を振り返る



各団が1年の活動を振り返り、それぞれの思いを発表しました



全員が一緒にチアダンスを体験

平成24年度市スポーツ少年団活動発表会が12月2日、市総合運動公園体育館で開かれました。

発表会には、20団体の小・中学生団員約280人が参加。各スポーツ少年団の代表は、「試合に負けて、とても悔しかったので、次は負けないように頑張りたい」「監督やコーチ、保護者の方々のおかげで充実した練習を行えていることに感謝したい」と、1年間の活動を振り返りました。また、市剣道スポーツ少年団は、日頃の練習で行っている技を全員の前で団体発表しました。

作文と実技の発表後は、小深田夏海さん(久慈市)によるチアダンス体験が行われました。普段は応援される立場の団員たちは「YMC」の音楽に合わせて、チアダンスを楽しんでいました。